



農業担い手カップル 激励会で交流を深める

農業担い手対策推進協議会主催の農業担い手カップル激励会が、4月15日町内で開かれました。19年度に結婚した5組のうち4組が出席。お嫁さんは、町内一人のほかは北見市出身です。激励会では、牛乳の消費拡大をめざし、牛乳で乾杯したあと、訓子府農業の将来を語り合っていました。

町と訓子府建設業協会（佐伯政勝会長）と訓子府町の「災害時における応急対策業務に関する協定」の締結が、3月27日役場で行われました。町ではこれまでも協会に対し、災害時の応急対策応援を要請してきましたが、近年自然災害が多発しており、さらに応急対策を迅速、的確に実施できる体制を構築するため、協定締結となりました。同日、菊池町長と佐伯会長が災害時における町民の生命、財産を守るための応急対策などを記した協定書に捺印しました。



町と訓子府建設業協会 災害応援協定を締結

146人が新たな第一歩

4校に146人が入学。入学式は、訓子府小学校、居武士小学校、訓子府中学校が7日、訓子府高校が8日にそれぞれ行われました。

訓小（表紙写真）には42人、居小4人、訓中45人、訓高55人が入学。新入生は、これからの新しい学校生活に大きな期待を持って、緊張した表情で式に出席していました。

入学おめでとう

居武士小学校



訓子府中学校



訓子府高校



訓子府幼稚園



幼稚園・保育園にも164人

あさひ保育園



訓子府幼稚園の入園式が4月8日、くねっぶ保育園・あさひ保育園・ひので保育園の入園式が4月4日それぞれ行われ、合わせて164人が入園しました。父母が見守る中、園児は新しい友達と笑顔を見せ合うなど、これからの各園の生活を楽しみに行っていました。

くねっぶ保育園



入園おめでとう

ひので保育園



放課後も楽しく 児童生活館で 入所式

児童が放課後に活動する場として開設されている児童生活館の入所式が、4月7日行われました。小学1年生から3年生まで35人が入所しました。子どもたちは、友達と一緒に放課後の活動を楽しんでいます。



町内のデントコーン畑にタンチョウと白鳥が3月下旬から約1か月滞在し、地域の方を楽しませました。それぞれ別な畑ですが、タンチョウは幼鳥と見られる1羽、白鳥は30羽以上いました。どこかへ行く途中か、仲間とはぐれたのか分かりませんが、4月中旬には畑を離れていました。

デントコーン畑に“滞在”

タンチョウと白鳥



図書館から 新しい本が入りました

怪獣図解入門 平成新装刊

大伴 昌司／構成・解説

児童書



怪獣オタクの元祖として今も敬愛される「怪獣博士」大伴昌司が考え抜いた、「空想の解剖図」と解説が、平成の現世に完全復活。

ペンスピニング

日本ペン回し協会／著

実用書



だれでもできる！ペン回し入門書。丁寧な技の解説からペン改造法、伝説のプレーヤーの紹介まで、「ペン回し」のすべてが分かる。

ジーン・ワルツ

海堂 尊／著

小説



産婦人科医・理恵一人呼んでクルール・ウィッチ。彼女はヒトの生命をどこまで操ることができるのか？